



# 蓄電池を活用した 工場・事業所等の「脱炭素化と電気代の高騰対策」

2026/1/22 株式会社パワーエックス BESS事業本部

# 会社紹介

# 会社概要

|        |  |
|--------|--|
| 会社名    | 株式会社パワーエックス(PowerX, Inc.)  |
| 設立     | 2021年3月22日   |
| 代表者    | 取締役 兼 代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕  |
| 所在地    | ・ 本社工場 岡山県玉野市田井6-9-1<br>・ 東京本社 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー 43階<br>・ 製品ショールーム 東京都港区六本木7丁目8-6 AXALL ROPPONGI 2F |
| 事業内容   | 大型蓄電池の製造・販売、EVチャージステーションのサービス展開<br>法人向けの電力供給   |
| 連結従業員数 | 180名（臨時雇用者含む）*1  |

\*1 2025年9月30日時点



# PowerX at a Glance

設立年

2021

(創業4年)

No. 1

2024年の  
政府補助金採択率 (50%) \*1

製品受注高累計

624億円

「正式受注」の累計金額\*2

## 主要事業



### BESS事業

(Battery Energy Storage System)

- ・自社開発の蓄電システムの販売
- ・運用管理システムの提供、保守・メンテナンス

### EVCS事業

(Electric Vehicle Charge Station)

- ・自社開発の超急速EV充電器の販売
- ・EVユーザー向け充電サービスの運営

### 電力事業

(Electric Power Business)

- ・蓄電システムを利用した電力供給サービス提供
- ・蓄電所の開発及び運営

エンジニアリング / 研究開発



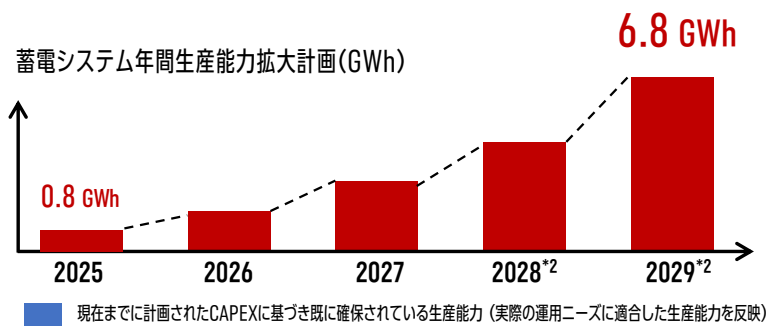
自社製造

\*1 政府補助金採択率は、2024年度に実施された経済産業省及び東京都による事業者のBESS導入に対する4種の補助金案件の採択結果に対する弊社調査結果より試算。

\*2 2023年度から2025年12月8日までにおける製品の「正式受注」の累計金額。既に売上に計上された金額分を含む。「正式受注」とは顧客から正式に発注され、売買契約が締結された拘束力のある注文を指します。

# 生産・事業拠点一覧

- ▶ 岡山の国内最大級の系統用蓄電システム生産工場で、すべての製品を製造。
- ▶ 2029年までに生産キャパシティを年間最大約6.8GWh\*1に拡大



## Power Base (本社工場)



〒706-0001 岡山県玉野市田井6-9-1

## 岡山第2工場



三井E&S 玉野事業所 (岡山県玉野市) 敷地内

## 東京オフィス



〒107-6243 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー 43階

## POWERD LAB (研究開発拠点)

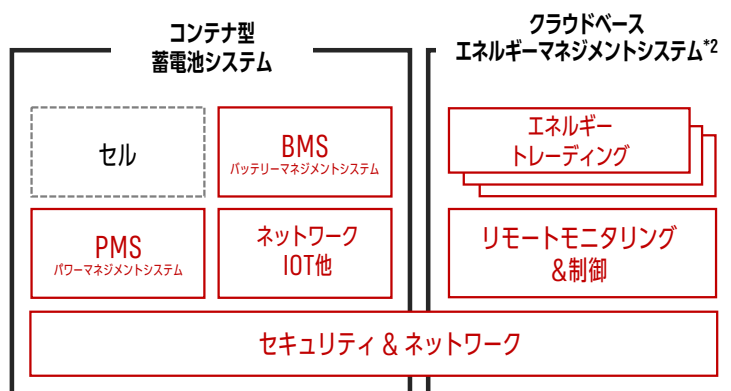


〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1

\*1 将来見通しの数値は、現時点での目標数値であり、市場状況の変化を含む様々なリスクや不確実性による影響を受ける。これらの数値は、岡山第2工場 (2026年拡張予定) 及びPower Base (2027年拡張予定) 双方の拡張計画に基づいている。拡張に向けた設計は既に開始しており、敷地も確保済み。また、GWhの値は、FY2025, 2026については製造可能なMega Power 2700Aの数量に同商品のストレージ容量を乗じて算出、FY2027以降は製造可能なMega Power 2500の数量に同商品のストレージ容量を乗じて算出。  
\*2 FY2028およびFY2029については、岡山第2工場拡張2直、Power Base拡張 (第2製造棟) 2直で稼働する計画のもとでの生産台数で算出。

# Made in Japan 宣言

## バッテリーエネルギー貯蔵システム(BESS) \*1



セルがコモディティ化する中、当社は共通の基準を満たし、第三者機関により安全性が認証された製品を採用。セルはあくまで単電池製品であり、単体では蓄電池として機能せず、モジュールに組立られラックに積載されることによりBESSの蓄電部品として機能する

弊社はセル及び一部のモジュール以外のすべての製品コンポーネント、制御システム、ネットワーク、アプリケーションの設計・開発・組立から運用サポートまで一貫して自社且つ国内で手掛ける



 Made In Japan 宣言\*

\*私たちが掲げる「Made in Japan 宣言」というスローガンは、電力インフラの最高水準のセキュリティは以下三つの要素によって実現されるというゆるぎない信念を表明するものです

日本国内で設計、  
組み立てられた製品

製品開発・生産拠点は100%日本国内。岡山県玉野市に所在する自社工場及び協力工場にて高品質で信頼性のある蓄電池を一貫して組立

自社開発ソフトウェアによる  
セキュリティの確保

国内のインフラを外部から守るために開発された自社ソフトウェア。電力の送配電等の基幹システムへのサイバー攻撃リスクを最小化し、国内の電力安定供給を支える

365日24時間の  
完全現地サポート体制

日本全国に専門チームを配備。製品導入後の運用やトラブル対応など、あらゆる技術サポートをオンサイトで提供

\*1 BESS(Battery Energy Storage System、バッテリーエネルギー貯蔵システム)の詳細はAppendix (P50) 参照。

\*2 クラウドベースエネルギーマネジメントシステム(クラウドベースEMS)：系統用蓄電池システムや再エネ設備をクラウド上で遠隔監視・制御し、最適な充放電計画の実行や、電力市場での取引などの運用を行うためのシステム

# PowerX Battery Products

## PowerX Cube

業務産業用蓄電システム



## Mega Power 2700A

20ftコンテナ型定置用蓄電システム



2026年出荷予定

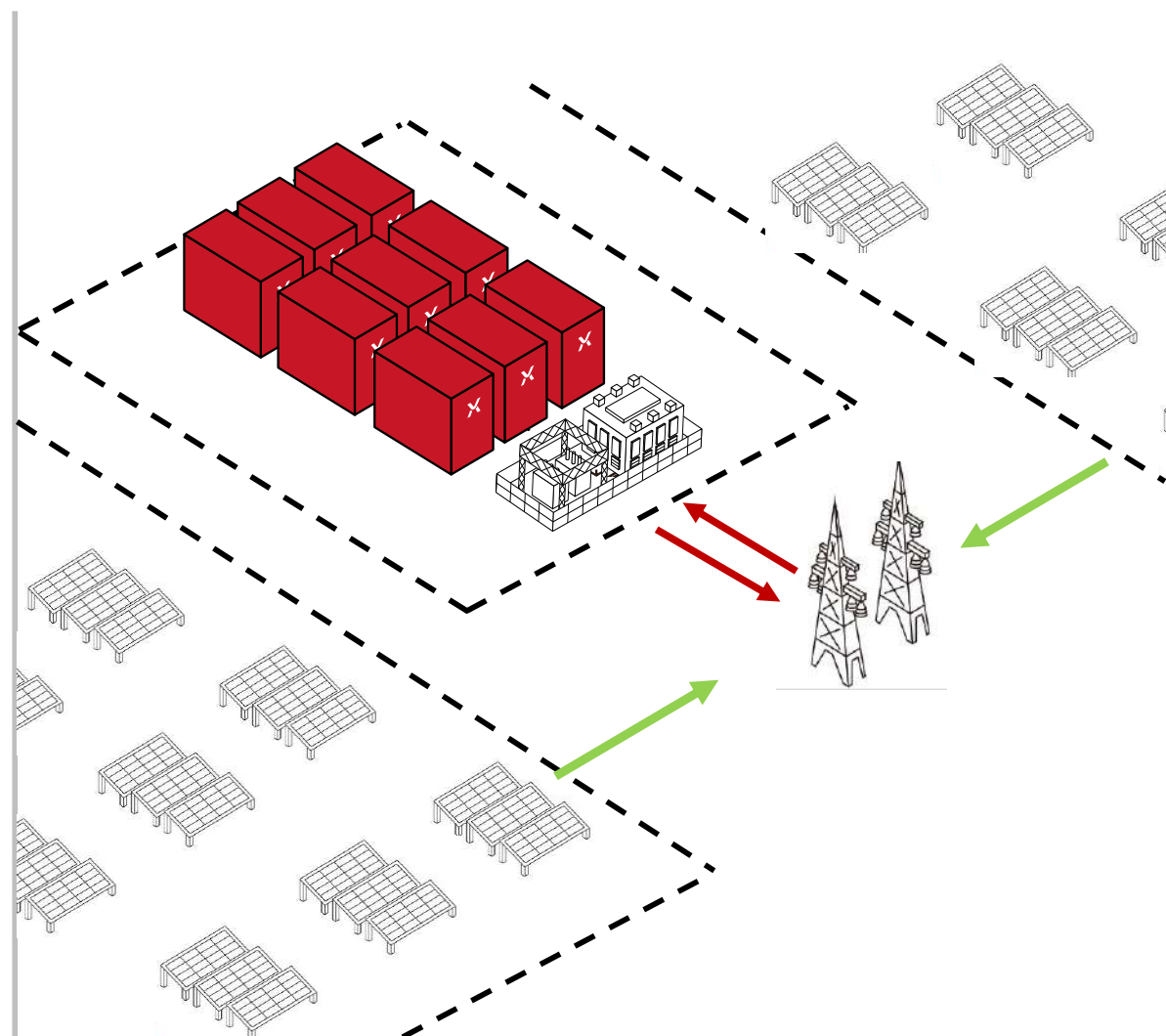
## Mega Power 2500

10ftコンテナ型定置用蓄電システム



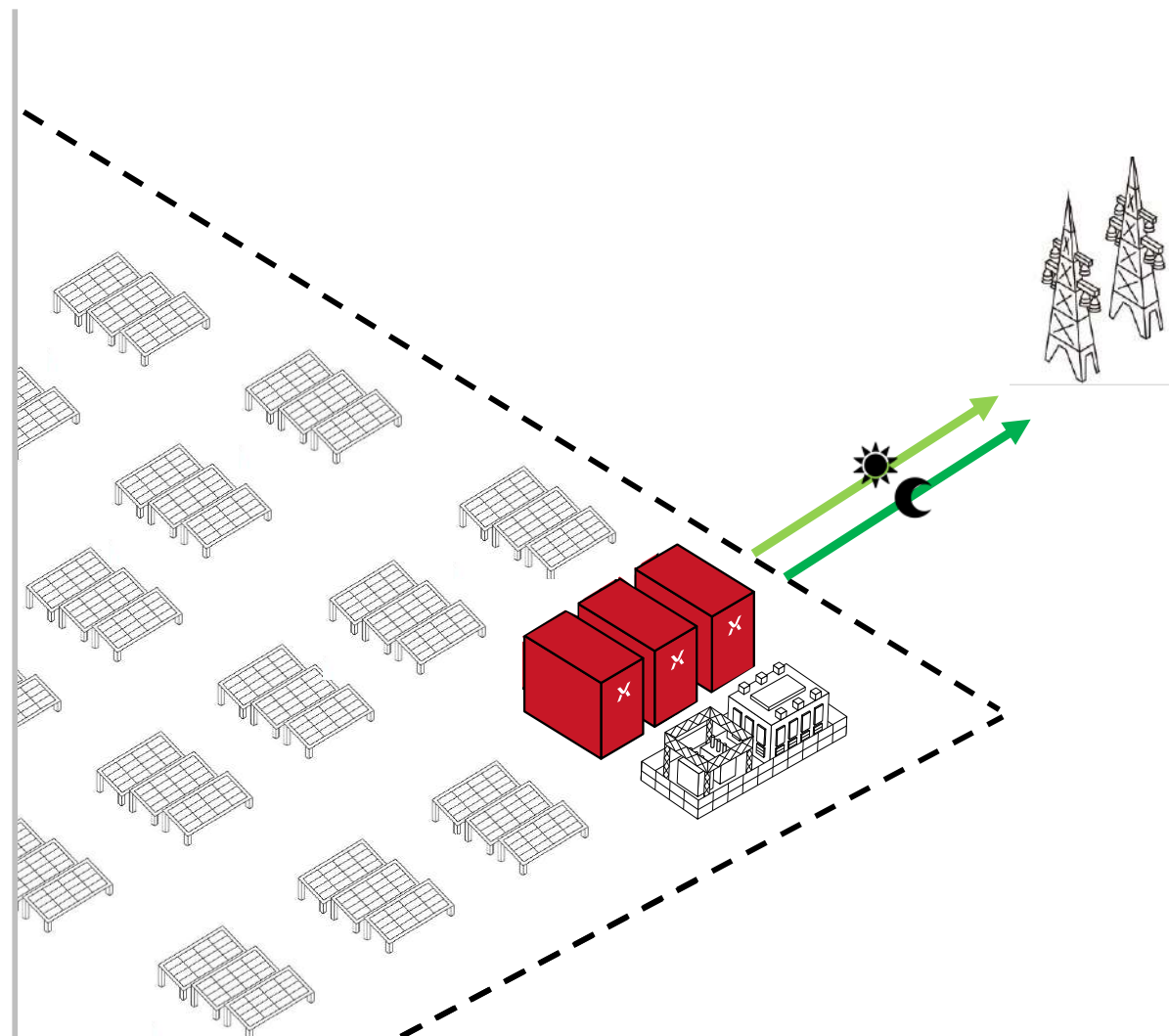
# 系統蓄電所

国内の電力需給において、  
供給過多のタイミングで『充電』  
需要過多のタイミングで『放電』をすることで、  
電力の安定供給に貢献する。



# 再エネ併設蓄電所 /蓄電池併設型再エネ発電所

太陽光発電の再エネを日中に『充電』  
夕方以降に『放電』することで、  
出力抑制を回避し、再エネを無駄なく供給。

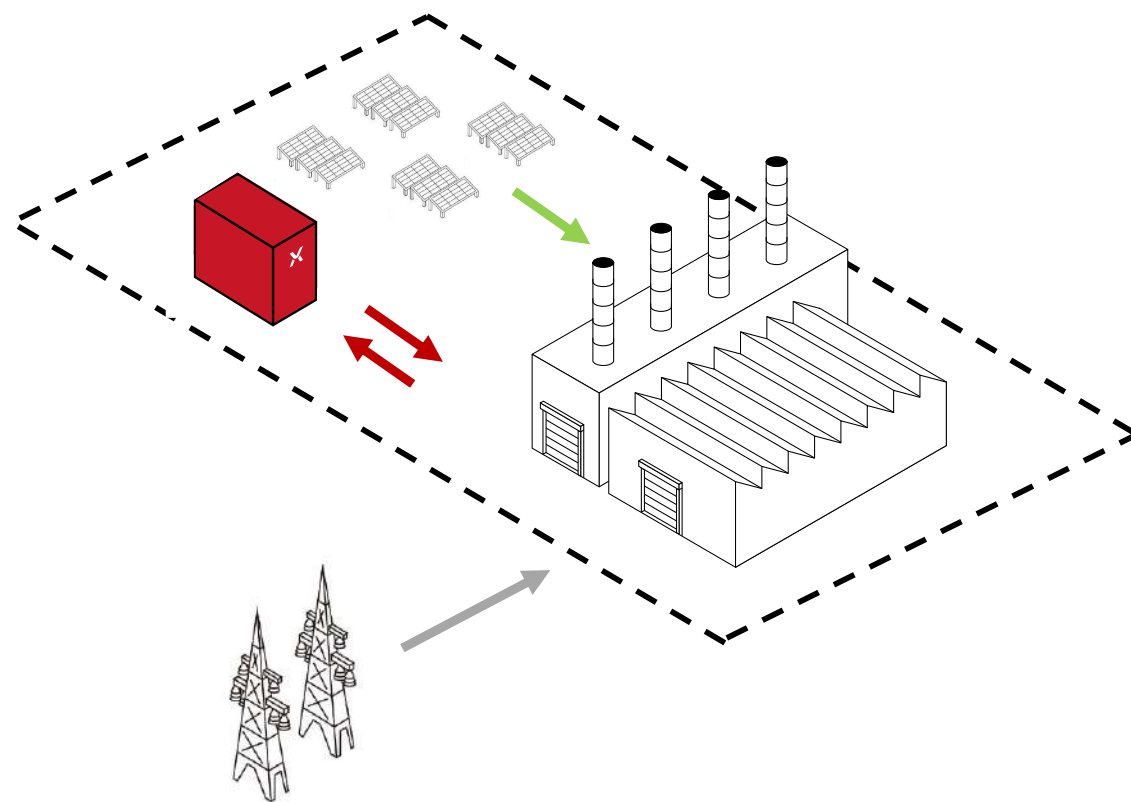


# 産業・商業用蓄電池

施設の需要を上回る、再エネを『充放電』  
購入電力量を下げ、再エネ比率をUP。

さらに、需要のピーク時に『放電』することで、  
契約電力を抑制。

これらにより、電気代の削減が可能。



# 設置事例

## Mega Power 2700A



## PowerX Cube



## Hypercharger



# 定置用蓄電システムの採用実績

## 導入/採用実績 1,543MWh

Mega Power 2700A  
Mega Power 2500  
PowerX cube

|                |                                |                                  |                             |
|----------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| NTTアノドエナジー株式会社 | 東北電力株式会社 & みずほリース株式会社          | 中部電力ミライズ株式会社                     | 四国電力株式会社 & 今治造船株式会社         |
| トヨタ自動車東日本株式会社  | 日本郵便株式会社                       | 東急不動産株式会社 (伊藤忠商事株式会社)            | 日本航空株式会社 (JAL Agriport株式会社) |
| 大和ハウス工業株式会社    | 東京センチュリー株式会社 & JFEエンジニアリング株式会社 | 株式会社ユーラスエナジーホールディングス             | 石油資源開発株式会社                  |
| JA三井リース株式会社    | 丸紅株式会社 (ニシム電子工業株式会社)           | SMFL みらいパートナーズ株式会社 (ニシム電子工業株式会社) | 九電みらいエナジー株式会社 (ニシム電子工業株式会社) |
|                |                                |                                  |                             |

117拠点



※2025/12/5時点の実績

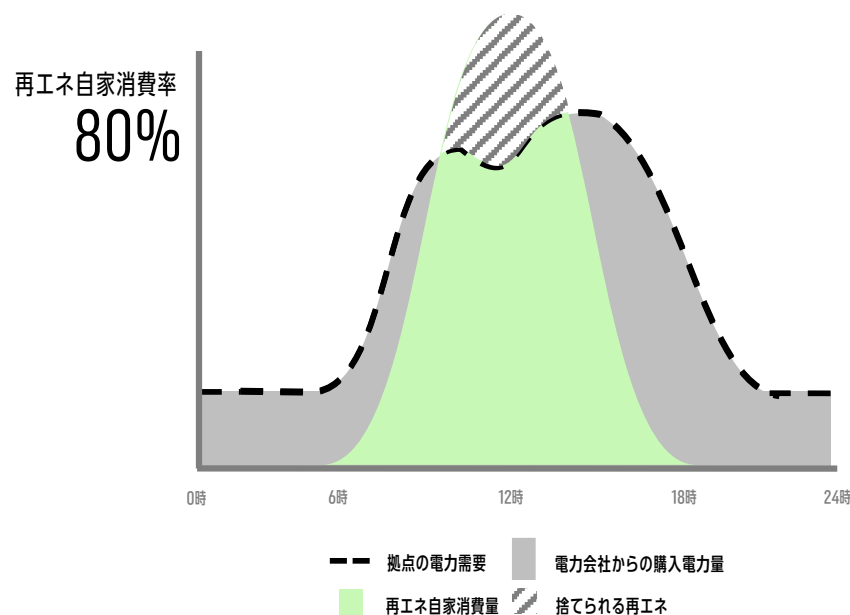
# 産業・商業用蓄電池ができること

# 蓄電池ができること1 再エネ発電量の最大化

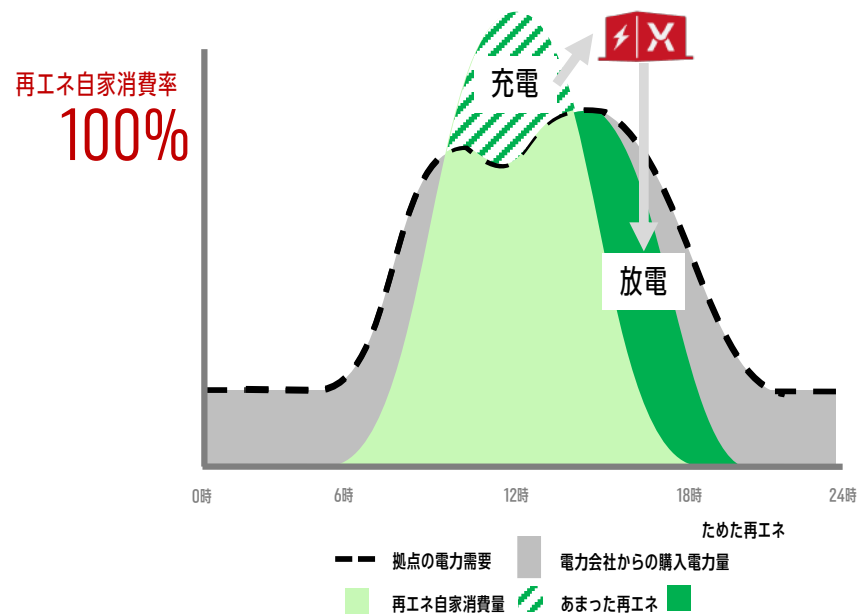
- ▶ 本来捨てられてしまう貴重な再エネを蓄電池の充放電により無駄なく活用し再エネ利用率が向上
- ▶ 購入電力量が減らし、電気代の電力量料金を削減可能

## 再エネ発電量の最大化

蓄電池導入前

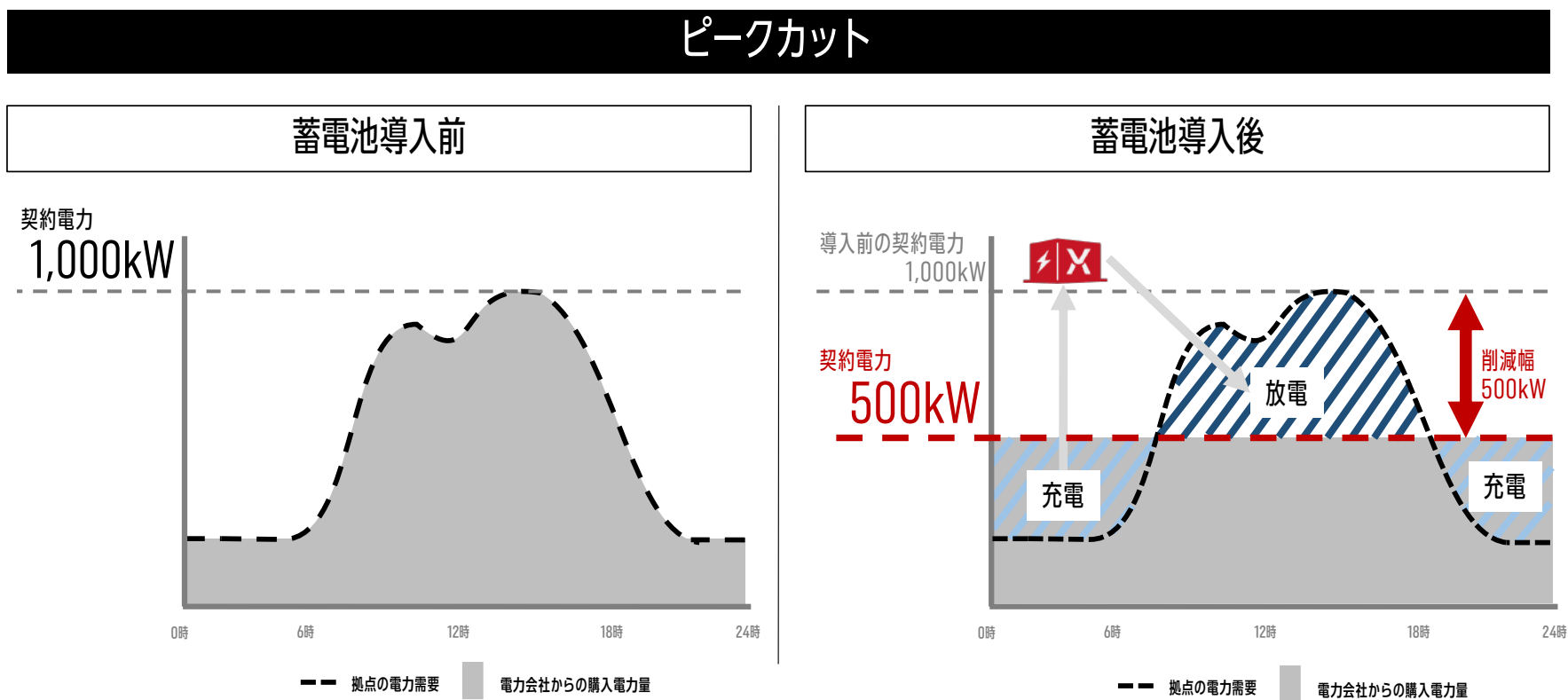


蓄電池導入後



# 蓄電池ができること2 ピークカット

▶ 電力の需要が多い時間帯の電気を充電した電気で賄うことで、契約容量を低減し (=ピークカット)、電気代の基本料金を削減可能



# 取り組み事例紹介

# 取り組み事例

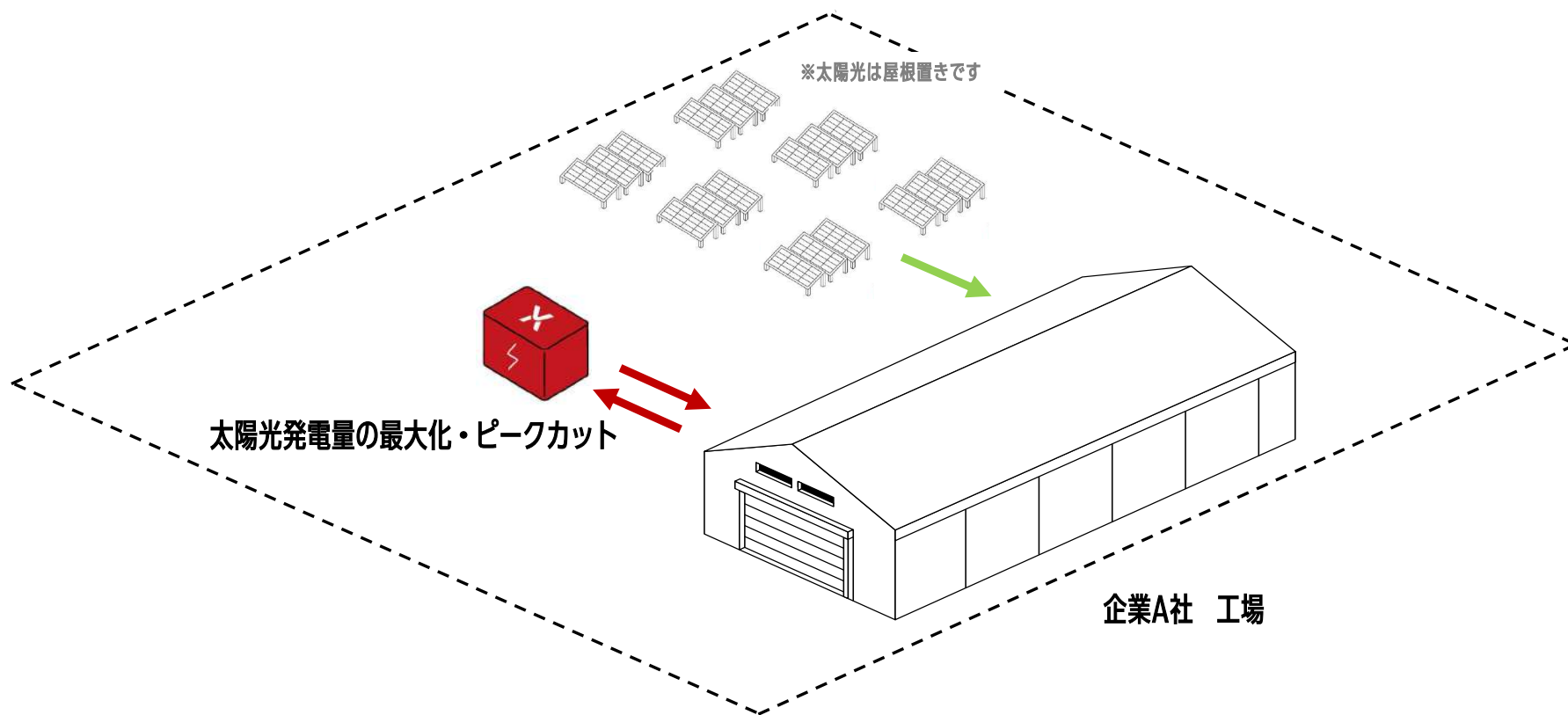
設置場所 **岡山県美作市**

設置製品 **PowerX Cube 360**

主な用途 **1. 太陽光発電量の最大化 (余剰電力の活用)  
2. ピークカット**



# 取り組み事例 におけるエネルギー最適化



# 取り組み事例

設置場所 **広島県呉市**

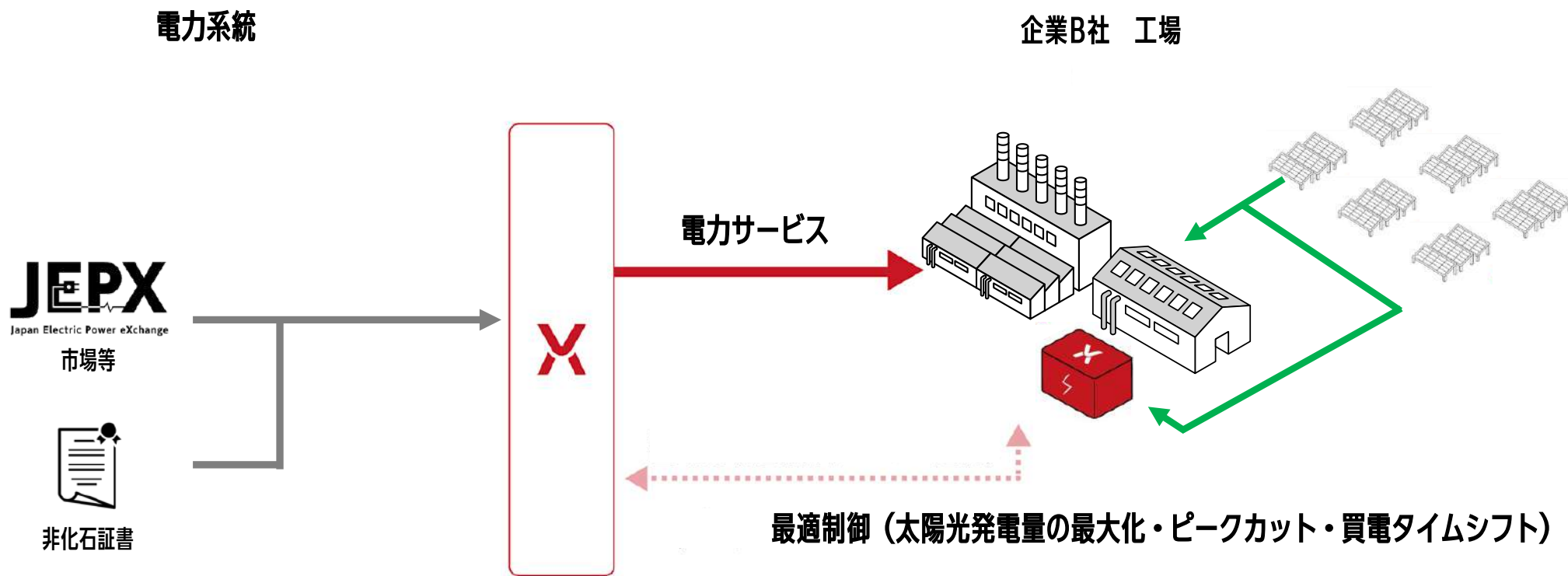
設置製品 **Mega Power 2700A**

主な用途

1. 太陽光発電量の最大化 (余剰電力の活用)
2. ピークカット
3. 買電タイムシフト



# 取り組み事例 におけるエネルギー最適化



# 取り組み事例

設置場所 **岡山県総社市**

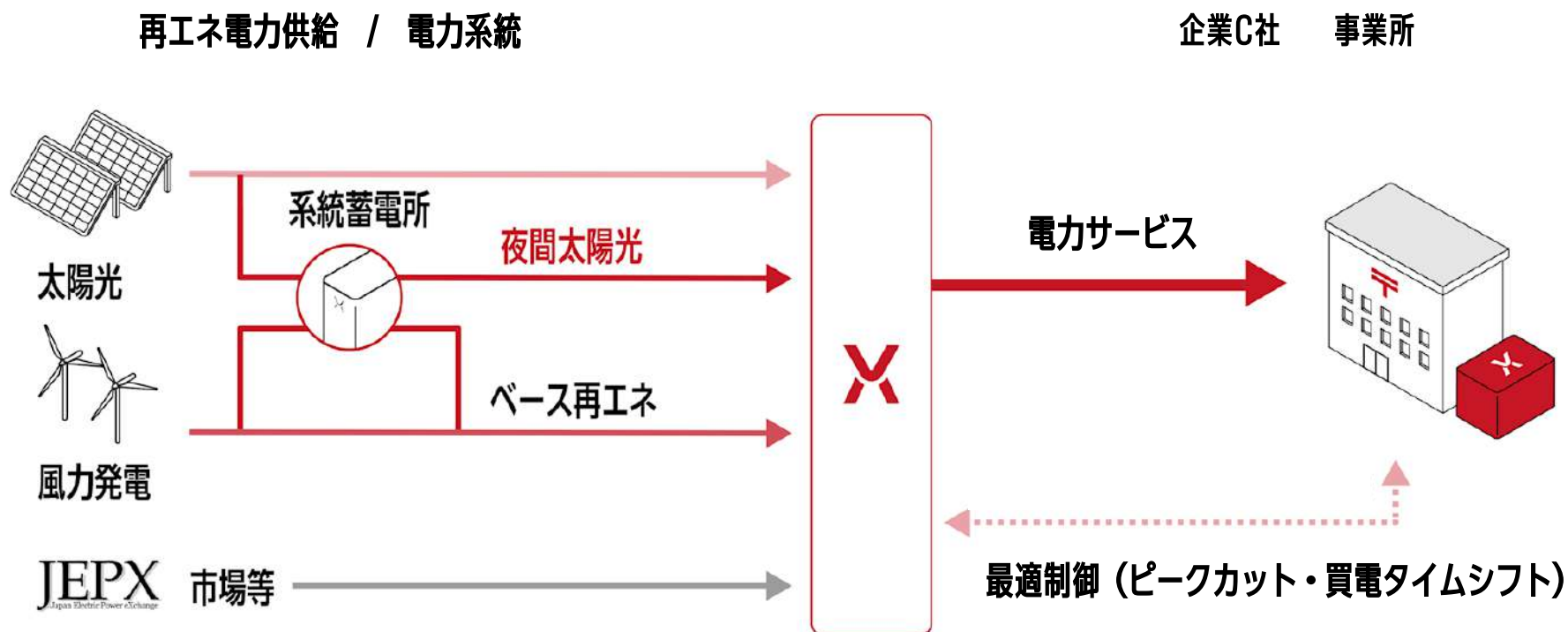
設置製品 **Mega Power 2700A**

主な用途

1. ピークカット
2. 買電タイムシフト
3. 再エネ電力供給サービスによる  
再生可能エネルギー利用促進



# 取り組み事例におけるエネルギー最適化



おわりに

# おわりに

- PowerXは、蓄電池を軸にした様々な次世代型エネルギーソリューションを展開し、幅広い実績を構築しております。
- 今後も地域のエネルギー需給構造 強靱化に向けて、系統用蓄電池や産業・商業蓄電池の普及に努めてまいります。



**Thank you.**